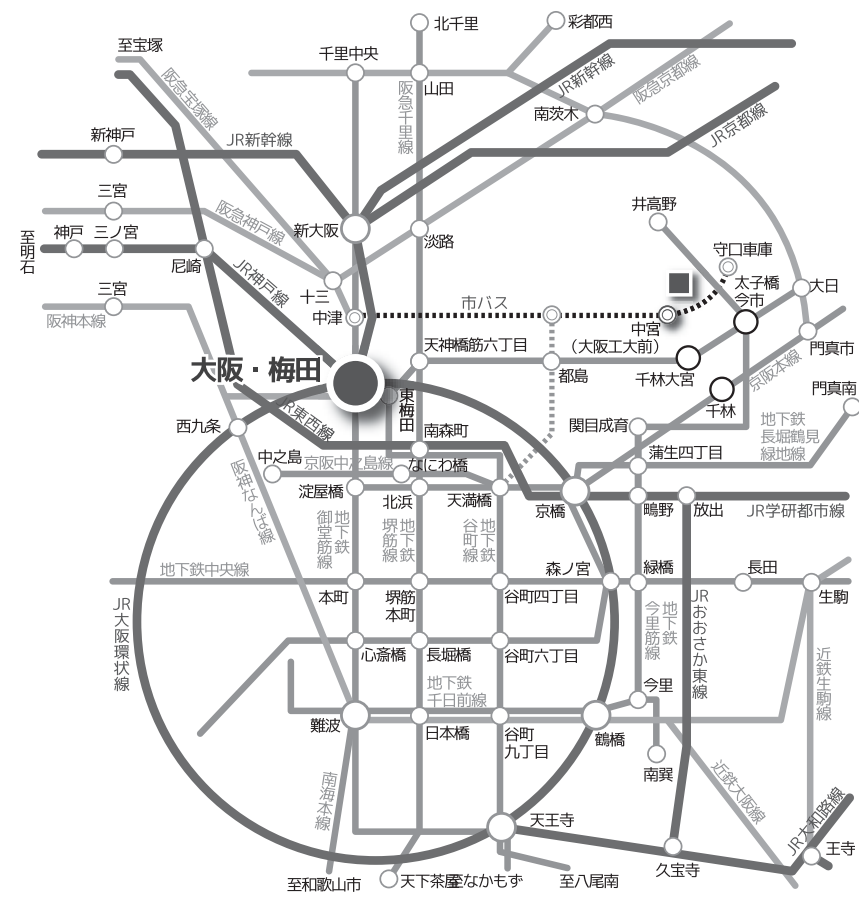


会場案内

ACCESS

◇大阪駅・梅田駅下車すぐ



■最寄りの駅からの所要時間
JR大阪駅(アトリウム広場) / 徒歩3分
地下鉄御堂筋線「梅田駅」 / 徒歩3分
阪急電鉄「梅田駅」 / 徒歩3分

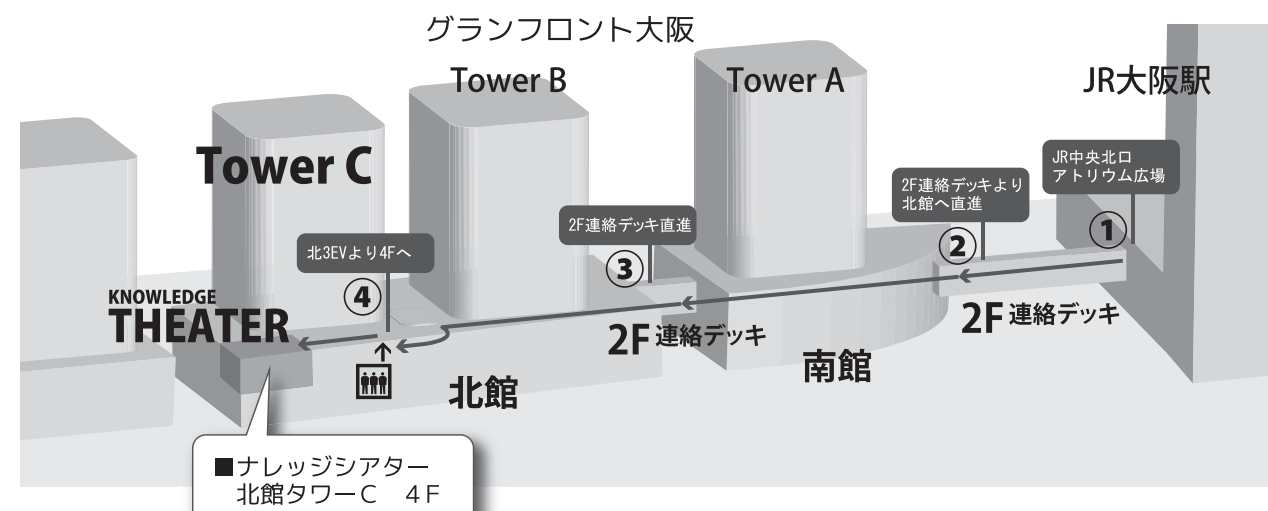
JR 新大阪駅から
【所要時間約4分】
JR 東海道本線(快速)新大阪駅~大阪駅

大阪国際空港(伊丹空港)から
【所要時間約22分】
大阪空港駅 [大阪モノレール(普通)]
~蛸池駅乗り換え
蛸池駅 [阪急宝塚線(急行)]
~阪急梅田駅

関西国際空港から
【所要時間約65分】
関西国際空港駅 [南海本線
(南海特急ラピート)] ~難波駅乗り換え
難波駅 [地下鉄御堂筋線(普通)]
~梅田駅

- JR 大阪駅
- 地下鉄 御堂筋線 梅田駅
- 阪急電車 梅田駅
- 阪神電車 梅田駅
- 地下鉄 谷町線 東梅田駅
- 地下鉄 四つ橋線 西梅田駅
- JR東西線 北新地駅

■グランフロント大阪案内



公共空間利活用のススメ

— 地域活性化の鍵を握る 公共空間の利活用 —

賑わいのあるまちづくりに資する、公共空間の利活用に焦点をあてて議論を行います。国、自治体など「つくり手」主導で整備してきた公共空間において、「つかい手」からのアプローチによる新しい公共空間の利活用が始まっています。水辺・街路空間における事例紹介とともに、これからの公共空間の利活用について議論します。

また公共空間の利活用では、周辺地域の活性化や良好なコミュニティ形成の観点から、「つかい手」によるイベント等の開催だけでなく、美しい公共空間を保持していくための日常的な維持管理活動を行うことも求められています。「つかい手」が主体となって公共空間を利活用している先進事例を通じて、公共空間の利活用促進、さらに地域の活性化について示唆を得ることも目的としています。

■日時：12月5日(金)16:00-20:00

■会場：グランフロント大阪
北館4F ナレッジシアター

参加費無料

- 開 場 15:30
- 開 会 16:00
- シンポジウム 16:05 ~ 18:00

プログラム

- 「OSOTO を含む公共空間の活用事例(仮)」
忽那 裕樹氏(株式会社 E-DESIGN)
- 「水都大阪 水と光のまちづくりの紹介」
川上 卓氏(大阪府都市整備部河川課)
- 「グランフロントの活用事例」
野上 康子氏(一般社団法人 グランフロント大阪TMO)

- 《休憩 20分》
- パネル ディスカッション 18:20-19:55
コーディネータ：嘉名 光市氏(大阪市立大学准教授)
パネリスト：シンポジウム登壇者

■閉 会 20:00



忽那 裕樹
Hiroki KUTSUNA

パネルディスカッション
パネリスト

1990_3 大阪府立大学農学部農業工学科卒
2000_8 環境デザインスタジオ E-DESIGN 設立、同主宰
ランドスケープデザイン及び商店街等のまちづくりを手掛ける
2005_8 ㈱ E-DESIGN を設立、代表取締役就任
住宅や商業施設、医療施設、大学キャンパス等のランドスケープデザインを国内外で手掛け、広場から都市に至る幅広い範囲を対象としたまちづくりを行い、現在に至る

主な作品(主な参加プロジェクト/竣工年)

堺自然ふれあいの森 / 2006年、千里リハビリテーション病院(GOOD DESIGN 賞受賞) / 2007年、近畿大学「洗心の庭」(日本造園学会奨励賞受賞) / 2007年、ヌーベル赤羽台(GOOD DESIGN 賞受賞) / 2010年、ブリリアレジデンス六甲アイランド(GOOD DESIGN 賞受賞) / 2012年、中国吉林省松花江公園 / 2013年、ウェブマガジン OSOTO 編集長 / 2006～2014年、水都大阪フェス(チーフプロデューサー) / 2011～2013年、大阪府立江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム形成支援(プロデューサー) / 2012～2014年、など

主な教育歴

立命館大学建築都市デザイン学科大学院SDP / 客員教授、大阪大学工学部工学研究科 / 非常勤講師、大阪市立大学工学部環境都市工学科 / 非常勤講師、京都造形芸術大学環境デザイン学科通信教育学部 / 非常勤講師



川上 卓
Taku KAWAKAMI

パネルディスカッション
パネリスト

1991_3 京都大学工学部土木工学科卒
1991_4 大阪府入庁、土木部に配属
主に都市河川の治水対策業務に従事
2001_4 一般財団法人国土技術研究センター勤務
国の都市型水害対策の施策立案に従事
2003_4 大阪府都市整備部に配属
大阪府内各河川の河川整備計画の策定業務、安威川ダムの設計に係る自然環境保全計画の策定、津波・高潮啓発施設の開設と運営業務等に従事
2010_4 大阪府都市魅力創造局に配属
「水都大阪」としての魅力創造を担当
2012_4 大阪府都市整備部西大阪治水事務所に配属
地域とデザイナーが連携する公共空間設計を担当
2014_4 大阪府都市整備部河川室河川整備課に配属
大阪府内の既存ダム管理、安威川ダムの建設に従事
現在に至る

主な作品(主な参加プロジェクト/竣工年 or 策定年)

寝屋川北部地下河川古川調節池 / 2002年、都市型水害対策検討委員会 / 2002年、寝屋川の特定都市河川指定 / 2006年、安威川ダム自然環境保全実行計画 / 2008年、津波高潮ステーション開設 / 2009年、水都大阪水と光のまちづくり構想 / 2011年、木津川遊歩空間デザインコンペ / 2012年、安威川ダム建設 / (工事中)



野上 康子
Yasuko NOGAMI

パネルディスカッション
パネリスト

1991_4 株式会社 大林組 入社(大阪本店 開発計画部)
2014_4 一般社団法人 グランフロント大阪 TMO 出向

一般社団法人 グランフロント大阪 TMO
まちづくり推進部 課長

タウンマネジメントによる街の付加価値向上やコミュニティ形成、公共空間の維持管理等の事業を実施。公共空間を活用したイベントの主催や誘致を通じて街に賑わいを提供している。



嘉名 光市
Kouichi KANA

パネルディスカッション
コーディネータ

1968_ 大阪生まれ。
2001_3 東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了
博士(工学)、一級建築士、技術士(都市及び地方計画)

研究テーマは都市デザインとその歴史、景観論、都心空間再生のデザイン論など。
大阪、神戸など京阪神を中心として都市の再生に向けた都市デザイン、空間論に取り組む。
大阪府・大阪市特別参与ほか公職多数。
近年は都市の回遊性や賑わいの公共性、エリアマネジメントに関心をもち、社会実験やその評価、計画技術の開発について研究している。

■主催：公益社団法人 土木学会 景観・デザイン委員会

■日時：2014年12月5日(金) 16時00分～20時00分

■場所：グランフロント大阪 北館4F ナレッジシアター

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1

■参加費：無料

■申込締切：2014年12月1日(月) ※会場での当日参加申込み承ります

■問合せ先：土木学会 林 淳二

TEL：03-3355-3559

FAX：03-5379-0125

E-mail：j-hayashi@jsce.or.jp

■詳細：景観・デザイン委員会ホームページ <http://www.jsce.or.jp/committee/lsd/>